

第22期 物流経営士課程

～物流新時代をリードする若手経営者、経営幹部のために～

令和3年11月10日～令和4年7月20日

マネジメント能力

受講生同士の
グループ討議等を通じて、
視野の拡大とマネジメント能力・
プレゼンテーション能力が
向上します。

5大メリット

物流経営士 認定

修了後の試験に合格すると、
(公社)全日本トラック協会から

「物流経営士」
として認定されます。

ヒューマン・ ネットワーク

長期研修を通じ、受講生同士の
ヒューマン・ネットワークが構築できます。
開校以来、輩出された500名以上以上の
物流経営士との間においても
ヒューマン・ネットワークが
大きく広がります。

ビジネスチャンス をつかむ

いち早く有効な情報を見だして、
ビジネスチャンスをつかむ
能力を高めます。

幅広い知識 を習得

専門講師陣により、
経営の基礎から物流の方向性
まで幅広い知識が学べます。

一般社団法人 **東京都トラック協会**

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-8 東京都トラック総合会館内
TEL. 03-3359-4137 FAX. 03-3359-6020



・東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅下車徒歩3分

本講座のねらい



自社計画の発表

トラック運送事業は、国民生活や産業活動を支えるライフライン（生命線）として、重要な役割を担っています。一方、その経営実態は、競争の激化や燃料費の高騰、働き方改革や環境問題への対応、深刻なドライバー不足などにより、厳しさを増してきています。さらには、産業・消費・流通等の構造変化、ITの高度化や物流体系の変革などにより、今、物流環境はダイナミックに変貌しようとしています。

本講座は、こうした大きな環境変化を踏まえ、トラック運送事業における人材の育成と経済競争に耐え得る近代的な経営体質の構築をめざし、物流新時代を乗り越えるための様々なスキルを身につけるとともに、「物流経営士」として資格認定を受けることをねらいとしています。

本講座の特色

- 中小事業者にとって役立つ実例を豊富に取り上げ、理解を助けます。
- 座学だけではなく、グループ討議と発表の機会を設け、問題発見と解決能力、折衝能力を身につけます。
- 宿泊研修などにより仲間づくりができ、交流の輪が広がります。
- 修了論文である自社の将来計画作りを通して、自社の抱える課題や進むべき方向性が明らかになり、会社経営に役立てることができます。
- 本講座だけのオリジナルテキストとして、プログラム化された「アクティブ・テキスト」を用います。
- 「物流経営士」資格の取得により、第21期までの先輩たちの仲間入りができ、同じ「物流経営士」としてヒューマン・ネットワークを通じ活躍の場が広がります。
- 全国の物流業界におけるリーダーとしての役割が期待されます。



グループ討議

カリキュラム検討会議委員

- 中田 信哉 神奈川大学名誉教授
- 湯浅 和夫 (株)湯浅コンサルティング代表取締役社長
- 横山 真一郎 神奈川大学客員教授



こんな感想をいただいています。



本課程を修了し、物流経営士の資格を認定された方々から、
講座の多方面にわたって、有意義だったとの感想をいただいています。

■貴重な時間になりました！

この物流経営士課程の一番の醍醐味は、「自社計画の作成」だと思います。経営者や管理職など様々な立場の自社計画をはじめ、抱えている問題や対応策が聞ける滅多に無い機会であり貴重な時間になりました。

■講義内容は、実になることが多かったです！

講義内容につきましては、現状おかれている物流業界の大変な事情を知っているからこそ共感できる事があり、それを打破するための糸口を教えていただいた気がしています。また、運賃や荷主交渉だけでなく、管理職として心得ておかなければならない労務管理や人事管理、また安全対策等幅広く学ぶことができ、自身の実になることが多かったと感じています。

■大きな成長を実感しています！

知識で劣る部分が多々あり自分の知識の乏しさを毎回痛感してはいましたが、毎回ためになる講義をして頂き、とても大きな成長を実感しています。講義の中身としても、物流業界についてだけではなく様々な領域の内容で多岐に渡っており、自分の現在の業務内容や物事の考え方に繋がる内容も多く、大きな糧になったのではないかと感じています。

■今後の方向性が明確になりました！

データに基づき物流業界の未来を語る先生の講義は、非常に理論的で分かりやすいばかりか、今後やるべき方向性まで明確にされていました。また、貴重な資料を余すことなく公開していただき、本当にありがたい先生だと感銘を受けました。

■多岐にわたる講義が学べました！

安全や品質に関する知識習得はもちろん、物流に関する法律の講義、事業戦略の立案方法、そして経営幹部には必須である財務諸表の講義など、非常に多岐にわたる講義が分かりやすく学べました。

第22期 物流経営士課

物流総論

我が国の産業構造の中で物流の占める位置と将来展望を学び、視野を広げます。

【到達目標】 自社や自分の進むべき方向性を見極める。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
物流総論	1	開講記念講演	○激変する経営環境への戦略設定	中田信哉〔神奈川大学名誉教授〕
	1	トラック業界と協会の現状と課題	○物流の根幹を担うトラック業界とトラック協会の現状と課題	(一社)東京都トラック協会役員
	2	物流政策と法令	○我が国物流政策の最新情報と関連法令の基礎	(公社)全日本トラック協会役員
	2	交通行政と物流	○激化する首都東京の交通状況と交通行政の方向性 ○道路交通法等関係法令のポイント	未定
	4	物流の現状と将来	○ダイナミックに変貌する物流環境と将来展望	大島弘明〔(株)日通総合研究所取締役〕
	2	総合物流施策大綱	○物流政策のポイントや方向性	大島弘明〔(株)日通総合研究所取締役〕
合計時間数	12			

経営外部環境

トラック運送事業者として必要な物流に関するキーワードを学び、新分野のロジスティクスニーズに対し、いち早く有効な情報を見だし、ビジネスチャンスをつかむ能力を高めます。

【到達目標】 物流の市場動向と輸配送ニーズを把握し、将来の市場展開の道筋を立てる。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
外部環境	2	物流業論	○荷主ニーズ変化への対応 ○コア・コンピタンス戦略 ○総合化、専門化等物流事業者の進むべき方向性	山田 健〔山田経営コンサルティング事務所代表〕
	4	ロジスティクス技法	○在庫管理 ○物流 ABC	内田明美子〔(株)湯浅コンサルティング コンサルタント〕
	2	市場戦略	○物流業におけるマーケティング、マーケット・ニーズの把握 ○商品戦略と商品開発 ○効果的な提案書の作成	重田靖男〔(株)SIC マーケティング顧問〕
	2	環境対応	○環境問題の現状 ○自動車エンジンの技術開発の動向 ○新エネルギーの動向	(一社)東京都トラック協会役員
	2	労働問題	○ドライバー不足とその対応 ○長時間労働改善のための方策 ○採用、定着のための工夫	芝田稔子〔(株)湯浅コンサルティング コンサルタント〕
ネットワーク	2	情報ネットワーク	○IT 技術の動向と将来 ○トラック運送事業における IT 活用 ○IT 導入事例	森高弘純〔近代経営システム研究所代表〕
合計時間数	14			

経営内部環境

企業における人・物・金の効率的な運用手法を学び、マネジメント能力を高めます。

【到達目標】 営業・財務・労務などの企業管理体制や輸配送・保管・流通加工など物流システムの効率化をデザインする能力を身につける。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
管理体制の確立	2	顧客管理	○トラック運送業にとって顧客とは「発荷主」だけではない。着荷主を含め物流サービスの展開に関係するすべてを顧客と考える。そして、顧客ごとに管理の方法は異なり、顧客間の関係も考えねばならない。	中田信哉〔神奈川大学名誉教授〕
	4	財務会計	○財務諸表の見方、作り方 ○決算書の分析、借り入れ限度額の判定基準 ○財務分析・コスト管理	林 忠史〔(有)マスエージェンツ代表取締役〕
	4	資金管理	○資金管理の役割、資金調達と運用、資金管理の分析手法 ○運転資金管理 ○キャッシュフロー計算書の分析	林 忠史〔(有)マスエージェンツ代表取締役〕
	4	原価計算	○原価の適正な把握 ○事業収益力の向上	森高弘純〔近代経営システム研究所代表〕
	4	労務管理	○トラック運送事業における労務管理の特徴、採用時の適性検査、就業規則、労働時間管理、賃金の決め方 ○人材開発体制、勤務評価制度の確立 ○職場環境、労働組合	小林弘和〔社会保険労務士〕

カリキュラム

総計時間数 110時間（その他ホームスタディ 10時間）

※都合により、講義を変更する場合があります。

管理体制の確立	2	労働関係法令	○労働基準法等労働関係法令	瀧澤 学〔社会保険労務士〕
	4	安全管理	○ハラスメント ○部下指導	中村香織〔キャリアコンサルタント〕
	2	プロジェクトマネジメント	○プロジェクト計画 ○プロジェクトの進め方 ○コミュニケーションマネジメント	横山真一郎〔神奈川大学客員教授〕
効率向上と安全対策	2	輸配送管理	○輸配送計画の考え方（最短ルート） ○ドライバーの乗務割と配車計画 ○運賃折衝のためにデータ整備（業務改善とリテラシー技術）	横山真一郎〔神奈川大学客員教授〕
	4	マテリアルと物流進化	○荷役・運搬の分析と改善方法、保管システムの種類 ○倉庫レイアウトの基本、自動化・機械化の手法	未定
	4	物流新技術	○物流の最先端技術の将来展望と課題	未定
合計時間数	36			

事例研究

同業者や顧客の先進的な事例を現場で学び、実行力を身につけます。

【到達目標】 自社の将来計画を具体的な数字で計画し、モデル化する。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
事例研究	10	資料分析	○自社計画策定のための課題別グループ研究・討議	中田信哉〔神奈川大学名誉教授〕 重田靖男〔株〕SIC マーケティング顧問 横山真一郎〔神奈川大学客員教授〕
	8	企業見学	○先進企業の物流現場	見学先未定
	2	各社による情報・意見交換会	○経営理念・人材育成手法等	
合計時間数	20			

自社将来計画策定

修了論文として、自社計画を策定します。

【到達目標】 パソコンを用い、シミュレーションモデルで作成した自社計画をパワーポイントで発表する。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
自社計画策定	2	計画の立て方	○計画策定の方法	中田信哉〔神奈川大学名誉教授〕
	(10)	計画策定	○自社計画をパソコンで作成（ホームスタディ）	
	8	発表・講評	○自社計画をパワーポイントで発表	中田信哉〔神奈川大学名誉教授〕 湯浅和夫〔株〕湯浅コンサルティング 代表取締役社長 横山真一郎〔神奈川大学客員教授〕
合計時間数	10			

課題別討議と発表

合計時間数 4時間

これからの経営者は、顧客に対し、提供サービスの内容や改善策、また、自社の将来構想等を客観的なデータに基づき説明できる能力が求められます。そこで、講義の理解をより確かなものにするとともに、討議や説明能力を身につけるため、授業の節目ごとに小グループ討議を行い、その結果を発表します。

特別講義

経営者としての常識と経営能力を育てるために、トピックなテーマを選んで講義を行います。

講座名	時間数	テーマ	講師
特別講義	14	経済、社会、物流、経営戦略、IT等の最新情報、実践事例などテーマを選び研修する。7コマ	未定
合計時間数	14		



年間時間割表



No.	月日	時間	科目	時間数	備考
1	11月10日(水)	14:00～14:50	開講式	1	第1回 宿泊研修
	〃	15:00～16:00	開講記念講演		
2	11月17日(水)	13:30～17:45	ロジスティクス技法	4	
3	11月27日(土)	12:45～13:35	トラック業界、協会の現状と課題	1	
4	〃	13:45～15:45	物流業論	2	
5	〃	16:00～18:00	物流政策と法令	2	
6	〃	19:00～21:00	各社による情報・意見交換会	2	
7	11月28日(日)	8:00～10:00	環境対応	2	
8	〃	10:00～12:00	本講座の狙い・修了論文指導	2	
9	12月8日(水)	13:30～15:30	市場戦略	2	
10	〃	15:45～17:45	プロジェクトマネジメント	2	
11	12月15日(水)	13:30～17:45	マテリアルと物流進化	4	
12	1月19日(水)	13:30～15:30	特別講義	2	
13	〃	15:45～17:45	総合物流施策大綱	2	
14	1月26日(水)	13:30～15:30	労働問題	2	
15	〃	15:45～17:45	グループ討議	2	
16	2月2日(水)	13:30～17:45	物流新技術	4	
17	2月9日(水)	13:30～17:45	原価計算	4	
18	2月16日(水)	13:30～17:45	安全管理	4	
19	3月2日(水)	13:30～15:30	特別講義	2	
20	〃	15:45～17:45	情報ネットワーク	2	

No.	月日	時間	科目	時間数	備考
21	3月9日(水)	13:30～17:45	物流の現状と将来	4	第2回 宿泊研修
22	4月6日(水)	13:30～17:45	財務会計	4	
23	4月13日(水)	13:30～15:30	顧客管理	2	
24	〃	15:45～17:45	グループ討議	2	
25	4月20日(水)	13:30～15:30	特別講義	2	
26	〃	15:45～17:45	交通行政と物流	2	
27	5月11日(水)	13:30～15:30	輸配送管理	2	
28	〃	15:45～17:45	特別講義	2	
29	5月18日(水)	13:30～17:45	資金管理	4	
30	5月28日(土)	13:00～17:30	自社計画の策定(課題別研究)	4	
31	〃	19:00～21:00	(グループ討議)	2	
32	5月29日(日)	8:00～10:00	(グループ討議)	2	
33	〃	10:00～12:00	グループ別発表	2	
34	6月8日(水)	13:30～15:30	特別講義	2	
35	〃	15:45～17:45	特別講義	2	
36	6月15日(水)	9:00～17:00	企業見学	8	
37	6月22日(水)	13:30～17:45	労務管理	4	
38	6月29日(水)	13:30～15:30	特別講義	2	
39	〃	15:45～17:45	労働関係法令	2	
40	7月6日(水)	9:00～18:00	自社計画の発表と講評	8	
41	7月20日(水)	13:30～15:30	資格認定試験		
42	9月7日(水)	16:00～16:40	修了式		



受講生募集要領



- **受講資格**
 - ① (一社)東京都トラック協会会員事業者の役員又はその社員で、経営管理職の経験3年以上の方若しくはこれに準ずる方
 - ② 関東トラック協会会員事業者の役員又はその社員で、経営管理職の経験3年以上の方若しくはこれに準ずる方
 - ③ その他特に会長が認めた方

- **募集定員** 30名 (受講が決定した方には、受講決定通知書をお送りいたします。)

- **研修期間** 令和3年11月10日～令和4年7月20日。修了式は、9月7日。

- **授業時間** 総計110時間

- **場 所** 東京都トラック総合会館内 他

- **受講日、時間**
 - ① 一般講義 原則として水曜日の13時30分～17時45分
講師の都合により、他の曜日、時間帯になる場合もあります。
 - ② 宿泊研修 レクトーレ葉山湘南国際村 (神奈川県葉山町湘南国際村)
 - 第1回 令和3年11月 (1泊2日) 今後10か月間の学習目標を明らかにするとともに、本講座のねらいや物流業の基礎を学びます。また、受講生同士の交流の場ともなります。
 - 第2回 令和4年5月 (1泊2日) ケーススタディを中心とした演習とグループディスカッションにより修了論文である「自社計画」策定の足がかりを作ります。
 - ③ 企業見学 1回 (物流先進企業を見学)

- **修了資格** 一定割合以上の履修と修了論文「自社計画」の提出 (採点と発表) により、修了証が授与されます。

- ◆ **物流経営士資格** 本講座を修了された方で、別に行う試験に合格された方には、(公社)全日本トラック協会から「物流経営士」資格が授与されます。

- **受講料**
 - ① 東ト協会会員事業者の役員及びその社員 35万円 (消費税込み)
 - ② 関ト協会会員事業者の役員及びその社員 35万円 (消費税込み)
 - ③ その他の方 40万円 (消費税込み)受講料は、原則として一括前納とします。受講決定通知後、指定口座にお振り込みください。但し、2回の分納 (申し込み時20万円、翌年4月15万円) もできます。受講料は、途中で受講を辞められてもお返しいたしません。
※(公社)全日本トラック協会から物流経営士課程を修了し、試験に合格した方に、奨励金5万円が交付されます。また、厚生労働省の人材開発支援助成金も条件はありますが、活用できます (詳しくは、各労働局へお問い合わせください)。

- **受講申込** 別紙申込書に必要事項を記載のうえ、東京都トラック協会へファックスでお申込みください (関東各県トラック協会会員の場合は所属協会を經由)。その他の方は、直接お申込みください。
申込期間：8月25日 (水) ～ 10月6日 (水)
FAX：03-3359-6020

受講申込書

一般社団法人 東京都トラック協会 御中

令和 年 月 日

物流経営士課程受講申込書	
支 部 名	
会 社 名	フリガナ
会 社 所 在 地	〒
	TEL FAX
氏 名	フリガナ
	印
	昭和・平成 年 月 日生 (歳)
会社での役職	
実 際 の 勤 務 先	営業所名
	〒
	TEL FAX
	E-MAIL
自 宅 住 所	〒
	TEL FAX